

お詫び

「福島ビエンナーレ 2018」は招待作家の4名の名前が、これまで紹介したホームページ、チラシにおいて未掲載のままにしまいました。

謹んでこの4名の作家の皆様にはお詫びしたいと思います。

また、2018.7.31 に美術手帖の全国アートスポットガイドで紹介された「福島ビエンナーレ 2018」のプレスリリーを読んで来場した方から下記4名の作品を探しても見つからないというお話も出ています。

ご来場いただいた皆様に、大変なご迷惑をおかけしました。

ヤノベケンジ氏 (ホームページ、チラシ不掲載)

福島市に設営された作品《サン・チャイルド》が会期前に撤去となりました。加えて、アートバスの巡回を変更しました。

その後、ヤノベ氏と福島県内の方々とお話をする企画を「ビエンナーレ」で何度か設けることとなりました。

- 9月 4日 福島県福島市
- 10月 13日 福島県南相馬市
- 11月 10日 福島県二本松市

(今後も開催を何度か予定しております。詳細は後日、あらためてご案内いたします。)

開発好明氏 (ホームページ不掲載、チラシ不掲載)

南相馬市の「政治家の家」の紹介や二本松市、南相馬市でのワークショップは開催できないこととなりました。「政治」に関わる活動は県の助成金で支払えないことや、海神の芸術祭実行委員会にご提案いただいた作品設置やワークショップの開催が難しいと判断された理由によります。

アーティストを招待したディレクターとして、心よりお詫び申し上げます。

10月26日、福島ビエンナーレの中で(海神の芸術祭とは切り離して) 福島市の福島大学でのワークショップをあらためて予定しております。(詳細は後日ご案内いたします。)

若木くるみ氏 (ホームページ、チラシ不掲載)

南相馬市と二本松市間の「塩の道」を走る企画は、安全が確保できない等の理由で取りやめとなりました。

11月10日・福島県福島市、二本松市で新たな企画を模索しております。(詳細は後日ご案内いたします。)

木下史青氏（チラシ、ホームページ不掲載）

ドクロ茶会を、南相馬市で企画しておりましたが、海神の芸術祭実行委員会で「ドクロ」に関わるワークショップは、公開して開催することは難しいと判断しました。そのため、10月14日、南相馬市の個人の茶室で、非公開で開催されましたこと、ご報告いたします。

「福島ビエンナーレ 2018」は、二本松の「重陽の芸術祭」と南相馬の「海神の芸術祭」の二ヶ所で開催されており、その二つをつなぐ福島大学の実行委員会で構成されております。

今回、「重陽」と「海神」に関わるアーティストについては、各々のHPやチラシでご紹介しておりましたが、福島大学で企画した「福島ビエンナーレ 2018」にご参加していただいている上記のアーティストの方々については、不掲載のまま対応が遅れ、アーティストの方々、ご来館いただいた皆様に、大変なご迷惑をおかけしました。

今後は、本作家に関わる情報をご紹介するとともに、二度とこのようなことが無いように、事務局一同心がけていきます。

まずは皆様に心よりお詫び申し上げます。

福島ビエンナーレ

重陽の芸術祭、海神の芸術祭
総合ディレクター 渡邊晃一